

学園だより

社会福祉法人 至誠学舎立川
至誠学園・至誠大地の家
至誠大空の家・まことくらぶ

平成26年 4月1日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://www.shiseigakuen.org/>

Email: info@shiseigakuen.org

発行 児童事業部 広報委員会



屋上にて元旦式



卒園生友の会による在園生ボーリング



高橋教予ピアノトリオによるコンサート



錦はやし 獅子舞

春が来た 春が来た どこに来た
山に来た 里に来た 野にも来た

唱歌「春が来た」より

それぞれの春へ 新しい旅立ち

大学に合格しました！

(至誠学園) 大学3名

(至誠大空の家) 大学1名 短期大学1名

就職決定しました！

(至誠学園) 1名

学園がお世話になっている企業に決まりました。

大学院に合格しました！

(至誠学園) 大学院1名

今春大学を卒業し、進学します。

おかげさまで、それぞれの子どもたち個別に、皆様方からの絶大なご支援をいただきまして、この数年、大学等への進学が増えています。経済的には、本人のアルバイトもありますが、各種奨学金や助成金(貸付)制度の利用、さらに至誠奨学育成会による支援によるものです。

今年も子どもたちの成長を支えるために、社会に向けて広く提案していきたいと思っております。どうぞ、ご協力お願い申し上げます。

至誠学園統括学園長 高橋利一



卒園式にて。新たな出発をする子どもたちをたくさんの方々が祝福し、応援に来て下さいました。

至誠学園の生活

子どもたちの自治会活動

家庭的養護としての施設の小規模化が実施され、グループホームなどを中心にして、子どもの生活集団の人数が少なり、個別化のケアを提供できることになりました。同時に子どもは、子どもたちの社会性を育てる集団で成長するものでもあるのです。子どもの中で育ち合いを図り、自立に向けた支援の一環として、子どもたちの自治会活動を再開しました。



大人の選挙と同様に、ポスターを作り、選挙演説をする等の活動を通して、さまざまな仕事や決まりを子どもたちは学びました。子どもたちの意見を生かして生活を組み立てていこうと職員は工夫しています。

苦情解決システムー第三者委員の皆さま



社会福祉法第82条に基づき、利用者である子どもたちや保護者等からの苦情・意見・要望に対して適切な対応に努めています。日常的に子どもたちに「困ったことがあれば相談できる」という意識を育て、いつでも利用できる意見表明の機会として「みんなの箱」を本園、グループホームに設置して活用を促しています。

クリスマス会、卒園式など行事にご参加いただき、子どもたちと交流を深めています。

今年度は名取種子氏(立川市更生保護婦人会会長) 佐々木信孝氏(至誠学園後援会会長)、西村一夫氏(前錦六会会長)の皆様です。なお、今年度は第三者委員の方々にご相談する苦情はありませんでした。

至誠学園施設長

子どもたちが中心になっての活動

クリスマス会

今年は平日のため、食事しながら子どもたちやゲストからの出し物を楽しみました。また、たくさんの方からご支援いただいたことへの感謝の場にもさせていただきました。

年末の大掃除

自治会の子どもたちが発案して(写真左下)



正月恒例すき焼きパーティ(写真右上)

卒園生友の会のメンバーと交流を深めます。

至誠大地の家の生活

この春、卒園や入学の節目を迎えた子どもたちは、それぞれ新しい生活に向けて、準備が始まっています。

また、この年度末で至誠大地の家での生活から、家族との生活に戻る子どもたちにつきましても、児童相談所と連携して準備をすすめました。施設での生活は、子どもたちそれぞれ人生で一時的ではありますが、生活の中で、夢や希望を抱ききっかけになってくれればといろいろ工夫しているところです。家族との生活に戻ってからも、子どもたちがさらに元気にすくすくと成長していくことは、私たちにとっても大きな喜びです。

昨年より日本ソシオエステ協会の皆様のご協力のもと、お母さんたちに向けたソシオエステ講座を開催しています。今年度も継続していただけます。また、川井 尚先生のセラピーも水曜日と金曜日に継続していただいています。

昨年度、東京都からの補助事業で屋外にトイレ、大地の家ホール前と砂場にひさができました。子どもたちが安心して生活できる環境を少しずつですが、整備することができました。また、東京都の要請を受けて 部室内の工事を実施し、2月1日から定員が2名増え、38名になりました。



11/2(日)は園庭で、東京立川ライオンズクラブ様のご協力のもと、モンテッソーリ子どもの家の運動会(写真上)を開催しました。

子どもたちはたくさんの人の中で緊張しつつも、さまざまな競技で走ったり踊ったりと、生き生きしていました。ライオンズクラブの方々との交流も楽しかった様子で、閉会式でメダルとご褒美を頂き、輝く笑顔を見せてくれました。



11/17 テレビ朝日福祉文化事業団主催の子どもキラット! 楽演会では、学園長も施設長(フルート演奏)も子どもたちと一緒に舞台上で歌いました。

至誠大地の家施設長

スポーツ大会に出場

7/24~7/25 江戸っ子杯野球大会 2013
 8/21(水) 第34回三多摩児童養護施設野球大会
 11/23(土) 江戸っ子杯サッカー大会(中学生大会3位)



中学生チーム:今回は部活や受験勉強の合間を縫い10名が参加。小さい時から学園のサッカー部に所属していた子が多く、チームワークも抜群だった。

小学生チーム:例年よりも平均年齢が低く、チームの半分が女子。しかし、メンバー全員が最後まで戦い抜き、数か月のサッカー部の活動で一人ひとりが一回りも二回りも成長したことがよくわかった。チームを支え続けてくれた女子マネージャー2人(小4)の頑張りもあった。

サッカー部監督職員

至誠大空の家の生活

大空の家の開設から1年、子ども達は25名にまで増え、4ホームで生活しています。

夏には東和ランドテック様から別荘をお借りし、河口湖へ旅行に行きました。



初めての宿泊行事でしたが、登山やボート、そば打ち体験など楽しく過ごすことができました。

夏の終わりには、日頃からお世話になっている近隣の皆さまをお招きして、施設のテラスでバーベキューを、年末には餅つき大会を実施しました。特に同区画で隣接している皆さまや町会長さん、保育園の先生方などには大変お世話になっています。



秋にはいよいよ畑活動が始まりました。この活動にも子ども達と職員だけではなく、近隣の皆さまにもご参加いただきました。月に1,2回週末に活動日を設け、大根、ほうれん草、じゃがいも、玉ねぎ、かぶ、さやえんどう、苺など、子どもたちや参加の方々と相談しながら時期を見て植えるようにしています。

初めての年末年始も手探りながら、クリスマス会、年越し、元旦式、初詣と皆で協力してゆっくと過ごすことができました。

施設での行事は子ども達が主体的に準備から実施まで取り組めるよう、子ども会議を中心に話し合いを重ねながら、みんなが楽しめる行事になるよう協力して進めることを大切にしています。また、近隣の方との楽しい交流の機会を定期的に持ちながら、地域に根差した運営ができるように今後も努力していきたいと考えています。

至誠大空の家施設長



まことくらぶのようす

「世界遺産!富士山!思い出たくさん!2013!」

9/11~13の二泊三日で恒例の秋の旅行に行ってきました。富士山五合目、箱根ロープウェイ、山中湖など富士山の周辺をめぐる3日間でした。が…今年一番の深い霧で、五合目は一寸先も見えません。なんと肝心の富士山の姿も一回もみることが出来ませんでした。それでもみんなで花火をしたり、山中湖の水陸両用バスで歓声をあげたり、この旅を楽しむことが出来ました。



写真左:
 山中湖の水陸両用バスの案内のガイドさんが富士山にまつわるクイズを出してくれて、車内は大盛り上がり!

市内の施設見学

毎年12月に取り組んでいた西多摩運送の電話帳の丁合のお仕事が機械化したとの事で今年からはなくなりました。

会員の方にとって貴重な体験アルバイトの場だっただけにとても残念です。そこで市内の他の施設見学を行いました。他の施設を見学することで、あらためて「まことくらぶ」のよさやもっとこうしてほしいなどの感想や意見を聞くことが出来ました。

まことくらぶ施設長

至誠学園・大地の家・大空の家 こどもたちの行事から (秋～冬)

東京児童福祉施設競技大会
江戸っ子杯ドッチボール大会 (7/30)

東京都体育館にて(写真右)。試合は1勝1敗で残念ながら予選リーグ敗退という結果になってしまいましたが、限られた練習の中で子どもたちは本当に頑張っていました。



はじめてのピアノ発表会 (7/30)

印牧由規子先生ご指導のピアノ教室では、子どもたちによる「はじめての発表会」がかしの木ホールで行われました。写真は先生との連弾。



子どもたちとアートを創るワークショップ (8/27)



六本木ヒルズクラブのみなさまのご協力を得て、子ども地球基金が企画したアートワークショップに参加させていただきました。

子どもたちが思い思いに自由な絵を描き、六本木ヒルズに展示する一つのアートを創作しました。

ダイエーユニオン様 ご招待行事 (9/21)

毎年恒例になっている行事で、今年は71名の子どもたちが参加して、ダイエーユニオンの方々と一緒に1日楽しくゲームや、バーベキューなどで楽しく過ごしました。

日本中国料理協会様 しゅうまい作り (10/23)

日本中国料理協会の料理長さんたちが来園し、子どもたちと一緒にしゅうまい作りをしてくださいました。具材の包み方を丁寧に教わり、小さい子どもたちも楽しく包み上げ、自分たちが作り上げたものを美味しくいただきました。

テレビ朝日福祉文化事業団主催
子どもキラット楽演祭 (11/17)



今年、第2回目の開催となった子どもキラット楽演祭に、幼児・小学生を中心に総勢135名で参加しました。

美容師のボランティアの方々にご協力をいただき、本格的な舞台メイク(写真右)。今年も舞踊と合唱で出演し、練習の成果を発揮しました。



七五三のお祝い (11/15)



今年のお祝いは大地の家と至誠学園の子どもたち12名(写真左)です。保護者の方々と一緒に諏訪神社にお参りに出かけました。

その後、至誠ホーム、諏訪の森保育園に挨拶に行きました。至誠ホームでは、お年寄りが孫を迎えたように喜び、お祝いしてくださいました。



サンタプロジェクト ホリデーパーティ
ゴールドマン・サックス様 (12/15)



今年も、ゴールドマン・サックス職員の有志の方々から、子どもたちそれぞれに、楽しみにしていたプレゼントが手渡されました。写真は大地の家でのパーティの様子。

サンリオピューロランドご招待 (11/23)

交通遺児等を支援する会様よりご招待をいただき、東京海上日動火災保険(株)の社員のみなさまに付き添っていただき、1日楽しく過ごさせていただきました。 (写真)キャラクターと一緒に記念撮影



ヒルトン東京 クリスマスパーティ (12/9)

在日各国大使夫人とさまざまな企業の方々のご協力のもと、ヒルトン東京「マーブルラウンジ」内にて、クリスマスパーティが行われました。学園・大地の家の子ども6名がパーティに参加しました。

チャリティパーティ (12/11)

GCMインベストメンツ(株)の芦澤社長様の主催されたチャリティパーティは今年で5回目になりますが、今年も子どもたちがご招待いただきました。パーティにご賛同の方々と一緒に美味しいお食事と音楽などで楽しいひと時を過ごさせていただきました。



サンタクロースに扮した芦澤社長さんから、プレゼントを手渡してもらい、子どもたちは大よろこびでした。

ご招待ありがとうございました

(7月 - 12月 敬称略)

- ・ ヘンゼルとグレーテル ニッセイ文化振興財団
- ・ ドキドキブリキミュージカルショー 劇団飛行船
- ・ スポーツ祭り東京(多摩国体) 多摩楽友協会
- ・ ラグビー早慶戦 ゴールドマン・サククス

ボーイスカウトとガールスカウト活動



●ボーイスカウトキャンプ (8/16-19) 三浦半島間口キャンプ場にて



●ガールスカウト 冬のバザーに手作りゼリーの店で参加

ボランティアの方々との交流

さくらグループさん ありがとうございます。

「確か、1968年(昭和43年)からでしたね、子どもたちの髪をカットしはじめたのは。私たちもいろいろと勉強させていただきました…」とおっしゃっていたリーダーの方。ご自



分のお店を持っていらっしゃるベテランでないと、さくらグループに入れなかったとお話されていました。

海外の方との交流

YE交換留学生 Beau(パウ)君アメリカより

東京立川ライオンズクラブの皆様のご協力により、毎年、至誠学園から高校生を中心に海外へ、また、海外から留学生の方が滞在されます。今年は、アメリカからパウ君をお迎えしました。

児童館の活動

帝京大、明星大、共立女子大の学生さんを中心にボランティアの方々のご協力により、子どもたちは生き生きとそれぞれ好きな活動や遊びに取り組んでいます。



写真左上: 夏休み陶芸教室
右上: ハロウィン
左: 年末の焼き芋の会

アクティビティ

- ・ 創作ダンス 秦野句子先生【毎週金曜日】
- ・ 音楽レッスン(ピアノ、うたってあそび、歌と遊びの広場) 印牧由規子先生【毎週1~2回程度】
キラット楽演祭に向けて歌のご指導 印牧真一郎先生、由規子先生
- ・ その他 各種スポーツ活動(担当職員の指導)、ボーイスカウト、ガールスカウト など

成人式を迎えた卒園生

今年は9人が成人を迎え、挨拶に訪れました。



卒園生の活躍

- ・ 海上保安庁CL型巡視艇「ひめかぜ」の船長をしている**青木和行さん**。3月、学園にきて、さまざまな活動のお話をして下さいました。
- ・ ドイツ ジュッセルドルフの日本食レストラン「コバヤ」のオーナーシェフの**小林元勝さん**。卒園生のドイツ短期留学を支援して下さいました。

後援会からのお知らせ

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき、心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

また、新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのために、あたたかいご支援いただけますようご入会をお願いいたします。

(至誠学園後援会会長 佐々木信孝)

< 郵便振替口座 >

口座番号 00140 - 2 - 356681

口座名 至誠学園後援会

< 銀行口座 >

三井住友信託銀行立川支店(銀行名変更)

口座番号 普通 7902588

多摩信用金庫錦町支店

口座番号 普通 0269785

口座名 至誠学園後援会

< 連絡先 > 至誠学園後援会事務局

立川市錦町 6-26-15(至誠学園) TEL 042-524-2601

後援会役員会を開催しました。(8/31)

< 至誠学園後援会役員 > (敬称略)

名誉会長 三田鶴吉

会長 佐々木信孝

副会長 浅見義明

理事 小山廣重、名取種子、長谷川照代、高橋利一、小川庄二、徳井美千代、西村一夫、師岡恵美子

会計 渡辺道子

監査 杉田英一、高橋久雄

事務局 林啓子、高橋久美子

顧問 青木徳祐、岩崎浩三、土井智生、丸本大、矢野雄一

< 平成 25 年度 至誠学園後援会事業 >

1. 会員、寄附者の拡張
2. 施設の整備、至誠学園管理棟かしの木プラザ、改修工事費補助 2,500,000 円
3. 自立する高校卒業児童への支援金(祝金) 6名×20,000円 120,000円
4. 虐待防止の啓発活動への参加
5. その他

第10回児童虐待防止月間記念セミナー11/22
「子どもを理解しともに生きるには一私たちにできること」

新しく開所した立川市子ども未来センター会議室を会場に、村瀬嘉代子先生を講師にお迎えしました。地域の方々を中心に約100名で、会場は満席でした。(写真右)



平成25年度 職員専門研修

昨年に引き続き、学園、大地の家、大空の家の合同で各先生方を講師としてお迎えし、実施しました。

- ・「子どもの精神発達」年6回
法政大学教授 皆川邦直先生
- ・「法人の理念とケアワーク」年12回 新入職員必修
淑徳大学名誉教授 金子 保先生
- ・「児童の愛着障害・発達障害への支援とその理解」
法政大学教授 小野純平先生 年6回
- ・「実践力を高めるグループワーク」
昭和女子大教授 高橋久雄先生 年6回
- ・「ケーススタディ」年4回 心理、FSW 必修
淑徳大学名誉教授 金子 保先生
- ・「施設の組織運営とマネジメント」 年8回
ルーテル学院大学非常勤講師 尾崎眞三先生
(株)川原経営総合センター 高橋喜彦先生
- ・「社会的養護の課題と未来」
高橋利一統括学園長(法政大学名誉教授)
- ・「児童の権利擁護を考える」年4回
社会事業大学名誉教授・弁護士 若穂井透先生
- ・「里親講習会」年3回
法政大学教授 清水幹夫先生

この他、毎年子どもたちの歯の健康のお話をくださるミルク小児歯科伊藤憲春先生や大地の家の小児科医首藤紳介先生、高橋利一統括学園長による新任職員研修(H25 採用のフォローアップ)等、また、外部の研修にも積極的に参加し、研鑽を重ねています。

施設見学の研修

訪問先の各施設の皆様、お忙しいところ、受け入れ下さりありがとうございました。

至誠学園

鳥取/こども学園、東京/二葉乳児院、あすなる荘、誠明学園、東京家庭学校、横浜/いずみ学園、沖縄/島添の丘、

至誠大地の家

福岡/清心慈愛園、滋賀/小鳩の家、湘南学園、鹿深の家、大阪/和泉幼稚園、福島/堀川愛生園、東京/調布学園、代々木至誠こども園

至誠大空の家

北海道/旭川育児院、公益財団法人鉄道弘済会 札幌南藻園、北海道婦人共立愛子会 富良野 国の子寮

グループホーム探訪シリーズ 第8回
至誠大地の家 「うめ HOUSE」

うめ HOUSE は、立川市柴崎体育館駅近くの住宅街の中にあります。開設して半年が過ぎ、幼児と小学生の子ども4人もグループホームでの緩やかな生活に慣れ



てきました。開設50日記念として庭に植えた梅の花と、職員からの「信じてるよ。」のメッセージと共に、幼い子ども達は、毎日少しずつ成長しています。

今、子どもたちの一番人気の遊びは、戦隊ヒーローごっこ。男の子3人、女の子1人仲良く、主人公になりきっています。

(うめ HOUSE 職員)

高橋利一統括学園長の近況



・職員の育成には力を入れていきます。新任職員研修の講師として、社会的養護の新しい施策の講義(写真左)

・厚労省の「社会福祉法人のあり方検討会」が開催され、委員

として、積極的に発言をしています。福祉施設の経営について議論されており、時代の変遷を感じます。

・2月には厚労省の若手職員の方々が、児童養護施設の視察に来園されました。毎年、施設の現状を勉強するために来園され、これからの政策に寄与できるのをうれしく思います。

統括学園長 高橋利一

編集後記:

今年の卒園式は、デコレーションした軽トラックで卒園生が登場するというサプライズでした。至誠学園は、中学生以上の子どもたちが多く(半数強)、卒園生が大学進学したということは、子どもたちにとって身近で、大きな目標となっています。自分たちも、がんばればできるのだという気持ちや、ああいう風になりたいというあこがれの気持ちです。私たちが子どもたちの夢や希望を支えるために、皆様方の応援とご協力をいただいて、さまざまな工夫をしていきたいと思っています。

広報委員一同